

| 番号 | 交付対象事業の名称                      | 所管       | 計画申請時の事業の概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当する経費内容<br>③積算の根拠（対象、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等）   | 事業<br>始期 | 事業<br>終期 | 事業実績  | 総事業費<br>(実績見込額)<br>単位：円 | 交付金<br>充当見込額<br>単位：円 | 効果検証<br>(事業の評価)   |
|----|--------------------------------|----------|---|----------|----------|---|-------------------------|----------------------|---|
| 1  | 臨時休業対策昼食支援事業                   | 学校教育課    | ①生活困窮世帯である準要保護者と特別支援就学奨励費受給保護者の経済的負担の軽減。<br>②臨時休業中における実施予定日数分の学校給食費相当額。<br>③準要保護者<br>小学校255円×1,000食（42名分）×1/2=127,500円<br>小学校200円×106食（4名分）×1/2=10,600円<br>中学校290円×652食（25人分）×1/2=94,540円<br>就学奨励費受給者<br>小学校255円×757食（29人分）×1/8=24,129円<br>小学校200円×26食（1人分）×1/8=650円<br>中学校290円×182食（7名分）×1/8=6,597円<br>期間はR2.4.9～R2.5.22<br>④生活困窮世帯である準要保護者と特別支援就学奨励費受給保護者   | R2.4.1   | R3.3.31  | (準要保護者)<br>小学校255円×1,000食（42名分）×1/2=127,500円<br>小学校200円×106食（4名分）×1/2=10,600円<br>中学校290円×652食（25人分）×1/2=94,540円<br>(就学奨励費受給者)<br>小学校255円×757食（29人分）×1/8=24,129円<br>小学校200円×26食（1人分）×1/8=650円<br>中学校290円×182食（7名分）×1/8=6,597円<br>※期間はR2.4.9～R2.5.22  | 528,767                 | 264,000              | 生活困窮世帯である準要保護者と特別支援就学奨励費受給保護者の経済的負担の軽減が実施できた。   |
| 2  | 内子町新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給事業      | 町並・地域振興課 | ①愛媛県が新たに創設した低金利の「新型コロナウイルス感染症対策資金（災害関連対策資金）」に連動する追加支援策として、町内の事業者に対する強力な資金繰り対策として、町独自の利子補給制度を新設する。<br>②融資利率相当分（借入日から5年間）<br>③借入（R2.4.6～R3.3.31）見込み件数57件に対し、5年間の利息を約34,530千円とし、令和2年度支払い5,930千円。<br>④愛媛県創設の融資を受け、町内に住所又は事業所を有し、かつ町税に滞納がない者   | R2.4.1   | R3.4.30  | 愛媛県独自枠の融資件数は、138件。融資総額は、15億9,640万円が事業対象となっており、令和2年度の利子補給額は、5,456千円となった。   | 5,455,872               | 5,455,872            | 借入後、5年間は実質無利子となり事業者の事業継続が図られている。<br>受益者からは、コロナの影響により資金繰りが厳しい中、借入金を余儀なくされたが、5年間実質無利子となることは有難いとの声が届いている。  |
| 3  | 欠番                             |          |   |          |          |   |                         |                      |   |
| 4  | 内子町新型コロナウイルス感染症対策事業者等経営安定補助金事業 | 町並・地域振興課 | ①新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少し、経営の安定と継続を行うため事業の継続が困難となっている町民又は事業者（法人・個人）を支援をする。<br>②運転資金等<br>③170件×50万円=85,000千円<br>④事業状況が悪化した町民又は事業者であって、国・愛媛県・金融機関等が創設した融資制度を利用した者   | R2.4.1   | R3.4.23  | 国等の融資件数は、194件。融資総額は、19億1,280万円が事業対象となっており、令和2年度の補助金額は、83,077千円となった。   | 83,077,000              | 83,077,000           | 経営の安定と継続を行うため事業の継続が困難となっている町民または事業者の支援につながっている。<br>受益者からは、収入減が続く中、とても有難い制度であるとの声が届いた。   |
| 5  | 内子町インドア花いっぱい応援事業               | 農林振興課    | ①自粛要請等により花卉の需要が激減する中、花卉を飾ることによりストレスの緩和や生産性を高める効果が期待されることから、内子町が地域の花や観葉植物などを買い取り、稼働中の公共施設や社会生活維持に必要な施設に提供する経費に充当。また、自治センター単位でフラワーアレンジメント教室を開催する。<br>②花卉生産者より、花を買い上げ、希望する施設等に提供する。また、自治センター単位でフラワーアレンジメント教室を開催する。<br>③ユリ @300円×5,000本=1,500千円<br>向日葵@100円×1,000本=100千円<br>その他切り花@200円×1,500本=300千円<br>さくらひめ@300円×1,000本=300千円<br>シクラメン@1,000円×800鉢=800千円<br>その他鉢物@500円×1,000鉢=500千円<br>花活け人件費@20,000円×15か所=300千円<br>フラワーアレンジメント教室委託費<br>@材料費5,500円×参加者10名×5館×2回+講師20,000円×10回=750千円<br>④— | R2.9.1   | R3.4.5   | 町内花き生産者から花を買い上げ、希望する施設等提供、また、フラワーアレンジメント教室を開催することで、需要の落ち込んだ花き生産者の事業継続を支援した。<br>花活け業務<br>@20,000円×15回=300,000円<br>フラワーアレンジメント教室開催<br>材料費5,500円×94名+講師料20,000円×6回=637,000円<br>花き買い取り<br>シクラメン 530鉢 795,000円<br>ユリ 7,800本 1,930,520円<br>さくらひめ 1,840本 391,600円<br>その他切り花、鉢物 495,880円<br>合計 4,550,000円 | 4,550,000               | 4,550,000            | 需要が減少し、価格低迷が続いている花卉等において、直接農家から買い上げることにより、生産農家の所得維持につなげ、事業継続を支援することができた。また、買い上げた花卉をグループホーム、病院、教育施設に配布することにより、入所者や児童・生徒からも沢山の喜びの届き、教育現場では、実際に総合学習の中で花卉生産現場の見学に訪れるなど新たな交流が生まれた。加えて、内子駅、役場等で行った花活け事業では、内子町を訪れる方への歓迎ムードをアピールすることができた。 |
| 6  | 欠番                             |          |   |          |          |   |                         |                      |   |
| 7  | 欠番                             |          |   |          |          |   |                         |                      |   |
| 8  | Web会議システム等導入事業                 | 総務課      | ①新型コロナウイルス感染症防止対策のため、本庁・内子分庁・小田支所にWeb会議システム等を整備し、感染リスクの低減およびBCP対策の一助とすることを目的とする。<br>②Web会議システム用の機器およびライセンスの購入と、テレワーク用ソフトウェアの初期設定およびライセンスの購入を行う。<br>③web会議システムおよびテレワーク用ソフトウェアの導入に係る経費<br>web会議用機器<br>1,807千円<br>web会議システム年間ライセンス<br>50,600円×2ライセンス=102千円<br>テレワーク用ソフト初期設定費用<br>11,000円×20ライセンス=220千円<br>テレワーク用ソフト年間ライセンス<br>19,800円×20ライセンス=396千円<br>④—  | R2.6.1   | R3.5.14  | 新型コロナウイルス感染症防止対策のため、本庁・内子分庁・小田支所にWeb会議システム等を整備するとともに、テレワーク用ソフトウェアライセンスを購入することでテレワークが可能な環境を整えることができた。<br>・Web会議用機器 1,806,200円<br>・ビデオ会議ライセンス 101,200円<br>・テレワーク用ソフト 396,000円<br>・初期設定費用 220,000円   | 2,523,400               | 2,523,400            | ・Web会議システムを導入したことで、新型コロナウイルス感染症対策の影響によりWeb開催となった会議や研修に対応することが可能となった。<br>・テレワークの実施が可能となったことで、感染リスクの低減及びBCP対策が図られた。   |

| 番号 | 交付対象事業の名称                                    | 所管    | 計画申請時の事業の概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当する経費内容<br>③積算の根拠（対象、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等）  | 事業<br>始期 | 事業<br>終期 | 事業実績   | 総事業費<br>(実績見込額)<br>単位：円 | 交付金<br>充当見込額<br>単位：円 | 効果検証<br>(事業の評価)   |
|----|--|-------|--|----------|----------|--|-------------------------|----------------------|---|
| 9  | 家庭学習のための通信手段確保事業                             | 学校教育課 | ①新型コロナウイルス感染症等の理由により家庭学習が必要となった場合に、通信手段を有しない世帯にモバイルルータを貸与するとともに、児童生徒が1人1台端末を持ち帰って学習することを前提に、フィルタリングソフトを導入し、安心かつ安全な家庭学習環境を実現する。<br>②フィルタリングソフト導入経費<br>③フィルタリングソフト1,095,820円+端末持ち帰り用PCバッグ1,172台×924円+マウス1,172台×561円=2,836,240円<br>④-   | R2.9.1   | R3.3.31  | フィルタリングソフト1,095,820円<br>端末持ち帰り用PCバッグ1,172台×924円<br>マウス1,172台×561円<br><br>合計 2,836,240円   | 2,836,240               | 2,836,000            | 児童生徒が1人1台端末を持ち帰って学習するにあたり、安心かつ安全な家庭学習環境を実現できた。                        |
| 10 | GIGAスクール構想の実現に向けたネットワーク強靱化事業                 | 学校教育課 | ①GIGAスクール構想の実現に向けて、ボトルネックとなる教育委員会サーバやネットワーク機器の強靱化、セキュリティの強化を行うことにより、GIGAスクール構想の実現に寄与する。<br>②無線LANコントローラ及び端末認証ツール及びファイアウォールの構築、スイッチ類等ネットワークの強靱化<br>③教育委員会<br>直接工事費 22,000円<br>機器費 16,957,000円<br>共通仮設費 314,000円<br>管理費 3,867,000円<br>消費税 2,116,000円<br>実施設計・施工管理費 754千円<br>④- | R2.6.1   | R3.4.5   | 無線LANコントローラ及び端末認証ツール及びファイアウォールの構築、スイッチ類等ネットワークの強靱化<br>直接工事費 22,000円<br>機器費 16,957,000円<br>共通仮設費 314,000円<br>管理費 3,867,000円<br>消費税 2,116,000円<br>実施設計・施工管理費 754,000円<br><br>合計 24,030,000円  | 24,030,000              | 24,030,000           | ボトルネックとなる教育委員会サーバやネットワーク機器の強靱化、セキュリティの強化を行うことにより、GIGAスクール構想の実現に寄与できた。 |
| 11 | GIGAスクール整備のためのタブレット等整備事業(地方財政措置分)            | 学校教育課 | ①GIGAスクール構想を実現し1人1台環境を実現することにより、学びを深めることができるとともに、緊急時におけるオンライン授業等で使用するための環境整備を整備する。<br>②タブレット端末等購入経費（地方財政措置分）<br>③・44,550円×2台=89,100円<br>・キッティング費用4,400円×2台=8,800円<br>④-  | R2.6.1   | R3.3.31  | タブレット端末等購入経費（地方財政措置分）<br>・44,550円×2台=89,100円<br>・キッティング費用4,400円×2台=8,800円<br><br>合計 97,900円  | 97,900                  | 97,000               | GIGAスクール構想の一人一台端末及びオンライン授業等の環境が整備できた。                                 |
| 12 | GIGAスクール整備のためのタブレット等整備事業(地方財政措置超え分)          | 学校教育課 | ①GIGAスクール構想を実現し1人1台環境を実現することにより、学びを深めることができるとともに、緊急時におけるオンライン授業等で使用するための環境整備を整備する。<br>②タブレット端末等購入経費（地方財政措置分を超えて配置分）<br>③・44,550円×413台=18,399,150円<br>・キッティング費用4,400円×413台=1,817,200円<br>④-   | R2.6.1   | R3.3.31  | タブレット端末等購入経費（地方財政措置分を超えて配置分）<br>・44,550円×413台=18,399,150円<br>・キッティング費用4,400円×413台=1,817,200円<br><br>合計 20,216,350円   | 20,216,350              | 20,216,000           | GIGAスクール構想の一人一台端末及びオンライン授業等の環境が整備できた。                                 |
| 13 | GIGAスクール整備のためのタブレット等整備事業(公立学校情報機器整備費補助金上限超分) | 学校教育課 | ①GIGAスクール構想を実現し1人1台環境を実現することにより、学びを深めることができるとともに、緊急時におけるオンライン授業等で使用するための環境整備を整備する。<br>②タブレット端末等キッティング経費（GIGA補助金対象外費用）<br>③4,400円×757台+55,000円×9校=3,825,800円<br>④-  | R2.6.1   | R3.3.31  | タブレット端末等キッティング経費（GIGA補助金対象外費用）<br>4,400円×757台<br>55,000円×9校=3,825,800円<br><br>合計 3,825,800円  | 3,825,800               | 3,780,000            | GIGAスクール構想の一人一台端末及びオンライン授業等の環境が整備できた。                                 |
| 14 | 感染症予防事業                                      | 総務課   | ①コロナウイルスの感染拡大を未然に防止する。<br>②③<br>マスク<br>55.47円×30,400枚=1,686千円<br>フェイスシールド<br>414.55円×536枚=222千円<br>非接触型体温計<br>8,400円×62台=521千円<br>205,000円×47台=9,635千円<br>合計10,156千円<br>飛沫防止パネル<br>17,162.79円×43枚=738千円<br>消毒液など<br>735千円<br>オゾン脱臭器<br>198,000×1台=198千円<br>④-                | R2.4.1   | R3.3.31  | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るための機器等を購入。<br>(非接触型体温計)<br>手首計測式：@199,606×41台=8,183,846円<br>頭部計測式：@231,000×6台=1,386,000円<br>非接触型体温計（温度計）：62台 695,750円<br>(オゾン脱臭器)<br>@198,000×1台=198,000円<br>(フェイスシールド)<br>740枚 235,840円<br>(アクリルパネル)<br>40枚 738,100円<br>(マスク)<br>30,400枚 1,686,520円<br>(その他感染症対策消耗品)<br>手袋、消毒液など 610,927円<br><br>合計：13,734,983円 | 13,734,983              | 13,734,000           | 新型コロナウイルス感染対策の強化及び感染防止が図られた。  |

| 番号 | 交付対象事業の名称                     | 所管       | 計画申請時の事業の概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当する経費内容<br>③積算の根拠（対象、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等）  | 事業<br>始期  | 事業<br>終期  | 事業実績   | 総事業費<br>(実績見込額)<br>単位：円 | 交付金<br>充当見込額<br>単位：円 | 効果検証<br>(事業の評価)   |
|----|-------------------------------|----------|--|-----------|-----------|--|-------------------------|----------------------|---|
| 15 | 選挙事務における新型コロナウイルス感染予防対策事業     | 総務課      | ①選挙事務における投票所等の感染防止を図る。<br>②投票所等の感染防止対策に係る経費<br>③投票用紙自動交付機 280,000円×1.1×15台=4,620,000円<br>アクリルパーテーション 6,480円×50個×1.1=356,400円<br>フェイスシールド本体 70円×300個×1.1=23,100円<br>フェイスシールド交換用 30円×900枚×1.1=29,700円<br>送料2,750円<br>マスク 2,000円×80箱×1.1=176,000円<br>ニトリル手袋 1,750円×5箱×1.1=9,625円<br>消毒液（サルボコール78） 7,000円×2缶×1.08=15,120円<br>シャワースプレーボトル (350円×35個)×1.1=13,475円<br>足踏み式アルコールスタンド 15,500円×16台×1.1=272,800円<br>キッチンペーパー 130円×40個=5,200円<br>鉛筆（36本入り） 745円×35箱=26,075円<br>鉛筆回収用かご 176円×20個=3,520円<br>2穴パンチ 2,250円×14個=31,500円<br>衝立運搬・収納用袋 2,992円×15枚=44,880円<br>衝立梱包用緩衝材 1,889円×2巻=3,778円<br>高濃度アルコール用消毒スプレーボトル 759円×20個=15,180円<br>目印用養生テープ40個 9,914円<br>物品運搬用折りたたみコンテナ20個 36,820円<br>発電機 43,000円×16台×1.1=756,800円<br>発電機用ガソリン携行缶 2,850円×16個×1.1=50,160円<br>入場券レイアウト変更システム改修料 264,000円<br>総計 6,766,797円<br>④- | R2. 8. 1  | R3. 1. 31 | 投票用紙自動交付機 280,000円×1.1×15台=4,620,000円<br>アクリルパーテーション 6,480円×50個×1.1=356,400円<br>フェイスシールド本体 70円×300個×1.1=23,100円<br>フェイスシールド交換用 30円×900枚×1.1=29,700円<br>送料2,750円<br>マスク 2,000円×80箱×1.1=176,000円<br>ニトリル手袋 1,750円×5箱×1.1=9,625円<br>消毒液（サルボコール78） 7,000円×2缶×1.08=15,120円<br>シャワースプレーボトル (350円×35個)×1.1=13,475円<br>足踏み式アルコールスタンド 15,500円×16台×1.1=272,800円<br>キッチンペーパー 130円×40個=5,200円<br>鉛筆（36本入り） 745円×35箱=26,075円<br>鉛筆回収用かご 176円×20個=3,520円<br>2穴パンチ 2,250円×14個=31,500円<br>衝立運搬・収納用袋 2,992円×15枚=44,880円<br>衝立梱包用緩衝材 1,889円×2巻=3,778円<br>高濃度アルコール用消毒スプレーボトル 759円×20個=15,180円<br>目印用養生テープ40個 9,914円<br>物品運搬用折りたたみコンテナ20個 36,820円<br>発電機 43,000円×16台×1.1=756,800円<br>発電機用ガソリン携行缶 2,850円×16個×1.1=50,160円<br>入場券レイアウト変更システム改修料 264,000円<br>総計 6,766,797円 | 6,766,797               | 6,766,000            | 投票所や開票所における感染防止対策を徹底することができた。<br>特に、購入した自動交付機においては、愛媛県において第3波が猛威を振るい当町でも感染者が確認される中での選挙事務執行であったが、従事者から選挙人へ直接手渡しすることを避けることができ、効果的であった。<br>また、入場券のレイアウト変更により、期日前投票所での宣誓書記載時間などの選挙人滞在時間を減らすことができ、混雑緩和につながりとても効果的であったと共に、選挙人からも好評であった。 |
| 16 | 避難施設感染防止対策支援事業（集会所）           | 総務課      | ①災害発生時に避難所として活用が想定される集会所の衛生環境の整備に必要な経費を補助し、各集会所の感染症に対応できる衛生環境を整備する。<br>②災害時に避難所として開設が見込まれる集会所のトイレ設備の改修等に要する経費（補助）<br>③対象施設数：10箇所<br>補助率：1施設当たり対象経費の10/10（上限1,000千円）<br>予算見込：10ヵ所合計4,685,296円<br>（内、県補助分2,338,000円） 【町単独合計】2,347,296円<br>④地区集会所のうち、避難所として使用見込みのある10箇所   | R2. 11. 1 | R3. 3. 31 | 災害発生時に避難所として活用が想定される集会所10箇所のトイレの洋式化、自動水栓の設置に係る経費の補助を実施。（実施主体は地元地区）<br>喜田村集会所ほか 計10ヵ所<br>事業費合計4,685,296円  | 4,685,296               | 2,348,000            | 災害発生時に避難所として活用が想定される集会所10箇所のトイレの洋式化、自動水栓の設置に係る経費の補助を実施することにより、感染症に対応できる避難所の衛生環境の整備を促進することができた。<br>また、主に和式トイレの利用が難しい高齢者から洋式トイレの整備により避難所として利用しやすくなったとの意見もあった。   |
| 17 | テレワーク等整備事業                    | 総務課      | ①紙文書での決裁を電子決裁とすることで、決裁機会の抑制と業務の迅速化・効率化を図る。<br>②③<br>文書・庶務管理システム導入 15,620千円<br>セキュリティ対策 8,929千円<br>各課持ち出し用端末 20台×162,150円= 3,243千円<br>④-  | R2. 9. 1  | R3. 5. 25 | 文書管理及び庶務管理システムを導入して電子決裁が可能な環境を整備し、決裁機会を抑制することで新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図った。併せて業務の迅速化・効率化を図った。また、テレワーク用端末を20台導入したことで、テレワークが可能な環境を整えることができた。<br>・持ち出し用PC 3,242,800円<br>・文書・庶務管理システム 15,620,000円<br>・セキュリティ対策経費 8,910,000円   | 27,772,800              | 27,772,800           | ・文書管理及び庶務管理システムを導入し電子決裁を可能としたことで、対面での決裁の抑制が可能となり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止と共に業務の迅速化・効率化が図られた。<br>・テレワークの実施が可能となったことで、感染リスクの低減及びBCP対策が図られた。   |
| 18 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策環境整備事業（避難所） | 総務課      | ①災害時避難所における良好な生活環境の確保のため、避難者間の十分なスペースを確保し、感染症拡大防止のため備蓄物資の整備を行う。<br>②ダンボールベッド・間仕切り(100セット)<br>③需用費 ダンボールベッド 7,900円×100セット=790千円<br>間仕切り 5,080円×100セット=508千円<br>④-   | R2. 9. 1  | R3. 3. 31 | 段ボールベッドを設置することで、足腰の負担軽減やエコノミークラス症候群の軽減などが図られることで避難所の良好な生活環境確保、新型コロナウイルス感染症拡大防止などのための物資整備が行えた。<br>段ボール製簡易ベッド 100セット<br>段ボール製間仕切りセット 100セット  | 1,298,000               | 1,298,000            | 段ボール製簡易ベッドと段ボール製間仕切りセットにより、避難所においてしっかりと避難者同士の間隔を取ることが可能となり、間仕切りもあることから、避難所における新型コロナウイルスの感染拡大防止への対応が可能となった。併せて避難所の良好な生活環境を整えることができた。   |
| 19 | 県民プレミアムチケット事業                 | 町並・地域振興課 | ①県民を対象に、金額優待による消費促進と町内観光関連事業者への還流事業として、県民観光客に割引として特典を付与し、町内消費拡大を目指す。<br>②プレミアム分（500円）とチケット制作費等に係る経費を交付対象経費とする。<br>③1セット500円券×5枚綴り=2,500円を2,000円で販売。販売限定数5,000セット。<br>プレミアム分 5,000セット×500円=2,500千円<br>チケット制作費等 100千円<br>④-  | R2. 7. 1  | R3. 2. 28 | 主に県民を対象に、1セット2,500円（500円券×5枚綴り）を2,000円で販売し、5,000セットを完売した。その経済効果は、1,250万円以上と推計する。   | 2,578,446               | 2,400,000            | 県民を対象に、金額優待による消費促進と町内観光関連事業者への還流事業として、町内消費拡大を目指すことができた。<br>主に県民観光客が対象となり、思わぬチケット販売にとっても喜ばれた。  |

| 番号 | 交付対象事業の名称                       | 所管           | 計画申請時の事業の概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当する経費内容<br>③積算の根拠（対象、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等）  | 事業<br>始期 | 事業<br>終期   | 事業実績   | 総事業費<br>(実績見込額)<br>単位：円 | 交付金<br>充当見込額<br>単位：円 | 効果検証<br>(事業の評価)   |
|----|---------------------------------|--------------|--|----------|------------|--|-------------------------|----------------------|---|
| 20 | 内子ステイキャン<br>ペーン事業               | 町並・地域振<br>興課 | ①県民割りやGo Toキャンペーンの相乗効果を高めるため、町内に泊まって豪華景品があたるキャンペーンの実施。<br>②先着5,000名を対象に、スクラッチくじを引き、1等から3等の景品に係る経費を交付対象経費とする。<br>③1等（季節の果物） 10,000円×150名=1,500千円<br>2等（商品券 500円×4枚） 2,000円×1,500名=3,000千円<br>3等（商品券 500円×1枚） 500円×2,500名=1,250千円<br>スクラッチ、ポスター等製作費 300千円<br>④-  | R2. 9. 1 | R3. 2. 28  | 対象期間9～11月までの3ヶ月間、5,000泊分が対象となりその内、1等当選数201本、2等当選数902本、3等当選数1,474本となった。           | 4,510,777               | 4,400,000            | 県民割りやGo Toキャンペーンの相乗効果を高めるため、町内に泊まって豪華景品があたるキャンペーン事業を実施し、コロナの影響によりチェックイン時の手続きが多くある中で、豪華景品があたるスクラッチくじは、宿泊者から好評との声が届いた。                        |
| 21 | 内子座サイレント上<br>映イベント事業            | 町並・地域振<br>興課 | ①コロナの影響により、イベント関係が中止となっており、観光誘致対策として種々の特典と並行させる形で、内子座の入場料追加なく、ノスタルジックな無声映画の上映を行い、内子観光と内子座の入場促進を図る。<br>②フィルムと機材のレンタル、休日には弁士を取り入れるための謝金に係る経費を交付対象経費とする。<br>③フィルムレンタル代 480千円×5タイトル=2,400千円<br>機材レンタル代 600千円<br>弁士謝金 15千円×10日=150千円<br>④-  | R2. 7. 1 | R3. 2. 28  | 対象期間9～11月までの3ヶ月間、上映回数175回、観覧者数1,585名となった。  | 3,139,681               | 2,900,000            | コロナの影響により、イベント関係が中止となっている中、観光誘致対策として種々の特典と並行させる形で、内子座の入場料追加なく、ノスタルジックな無声映画の上映を行い、土日には活弁士によるパフォーマンスも行い、内子観光と内子座の入場促進が図られた。特に活弁士は好評で観光客に喜ばれた。 |
| 22 | 期間限定バス運行事<br>業                  | 町並・地域振<br>興課 | ①観光客の利便性を高めるため二次交通対策として、観光協会が実施する期間限定のバス運行に対する経費の支援を実施する。<br>②バスレンタル代の2分の1以内に係る経費を交付対象経費とする。<br>③9～10月の週末運行予定 100千円×6回=600千円×1/2=300千円<br>10～11月の間、100千円×8回=800千円×1/2=400千円<br>④-  | R2. 7. 1 | R3. 2. 28  | 石畳コースと小田深山コースに、18便、利用者数155名の申し込みがあった。  | 213,950                 | 175,000              | 観光客の利便性を高めるため、JR内子駅から石畳と小田深山までの二次交通対策として初めての取り組みとして実施し、利用者の評判も良かった。   |
| 23 | プレミアム付き応援チ<br>ケット事業             | 町並・地域振<br>興課 | ①コロナの影響により、最も大きな影響を受けている飲食サービス業・小売業等を活性化させ、町内商工業者の振興につなげることを目的とする。<br>②プレミアム分（1,000円）とチケット制作費等に係る経費を交付対象経費とする。<br>③1セット500円券×6枚綴り3,000円を2,000円で販売。販売限定数20,000セット。<br>プレミアム分 20,000セット×1,000円=20,000千円<br>チケット制作費等 800千円<br>④-  | R2. 8. 1 | R3. 2. 28  | 主に町民向けに、1セット3,000円（500円券×6枚綴り）を2,000円で販売し、20,000セットを完売した。その経済効果は、6,000万円以上と推計する。 | 20,800,000              | 20,800,000           | コロナの影響により、最も大きな影響を受けている飲食サービス業・小売業等を活性化させ、町内商工業者の振興につなげるため、内子町商工会と連携して実施した。参加店舗と利用者からは大変好評で第2弾の実施を強く求められている。消費喚起策としてもとても良い事業である。            |
| 24 | 家賃支援補助事業                        | 町並・地域振<br>興課 | ①コロナの影響により、売上げが減少した、町内に店舗、事業所等を賃貸しているテナント事業者の事業継続を下支えするため、家賃の補助を行う。<br>②5～12月において、いずれかの1箇月の売上高が前年同月比で50%以上減少か連続する3箇月の売上高か前年同期比で30%以上減少のいずれかに該当し、月額地代・家賃の6箇月分を上限として、3分の1以内の額を補助する。<br>③月平均75,000円×1/3×6箇月×60事業者=9,000千円<br>④国の「家賃支援給付金」を受けた方 60事業者  | R2. 7. 1 | R3. 4. 15  | 国の「家賃支援給付金」を受けられた方は、51件あり、その給付残の3分の1を上乗せし実質全額を支給した。                              | 8,667,000               | 8,667,000            | コロナの影響により、売上げが減少した町内に店舗、事業所等を賃貸しているテナント事業者の事業継続を下支えをすることができた。家賃は、売上げが減少した方々に特に重荷になっており補助することで事業の継続が図られている。                                  |
| 25 | 内子町新型コロナウ<br>イルス感染症対策利<br>子補給基金 | 町並・地域振<br>興課 | ①新型コロナウイルス感染症の影響により被害を受けた事業者の資金繰りを支援するため、愛媛県中小企業振興資金融資制度の新型コロナウイルス感染症対策資金を利用して融資を受けた者に対して、利子補給を交付することを目的とする。<br>②年利1%以内として、期間は、初回償還月（据置期間含む。）から5年以内の利子分に係る経費を交付対象経費とする。<br>③令和3年度：8,198,862円<br>令和4年度：6,574,046円<br>令和5年度：6,676,095円<br>令和6年度：5,627,932円<br>令和7年度：1,523,065円<br>④町内に事業所を有し、感染症対策資金により事業資金の融資を受けた者、町税に滞納がない者 150事業者 | R2. 4. 1 | R 8. 3. 31 | 令和2年11月臨時議会において、基金条例を制定し、令和3～7年度までに支払う利子の財源として、基金28,600千円を積み立てることができた。           | 28,600,000              | 28,600,000           | コロナの影響により被害を受けた事業者の資金繰りを支援するため、愛媛県独自枠の融資を受けた方に対する利子補給に要する経費の財源として基金を積み立てられたことは町財政的にも予算確保の面で安心できるところである。                                     |
| 26 | 内子町総合交流促進<br>施設エアコン整備事<br>業     | 町並・地域振<br>興課 | ①三密対策を目的とし、当施設をリニューアルし、室内換気を良くするため「エアコンの改修」と、コロナ感染防止の観点から密集を避けるため空間利用を最適化し快適性を高めるため休憩スペースの分室化を図り「エアコン設置」を行う。<br>②エアコン改修3台、休憩スペース分室エアコン1台<br>③改修分328,900円×3台、新設分151,800円×1台、他設置（搬入・据付・調整等）及び撤去費用654,500円<br>④内子町総合交流促進施設  | R2. 9. 1 | R2. 10. 31 | 町の観光施設のひとつであるオーベルジュ内子に、コロナの三密対策を目的とし、エアコン3台の改修と、休憩スペースのエアコン1台を設置することができた。        | 1,793,000               | 1,793,000            | 施設の三密対策にエアコンの改修と、快適性を高めるため休憩スペースにエアコンの新設をしたことで、利用者への安心・安全確保ができた。  |

| 番号 | 交付対象事業の名称                          | 所管         | 計画申請時の事業の概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当する経費内容<br>③積算の根拠（対象、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等）  | 事業<br>始期  | 事業<br>終期   | 事業実績   | 総事業費<br>(実績見込額)<br>単位：円 | 交付金<br>充当見込額<br>単位：円 | 効果検証<br>(事業の評価)   |
|----|------------------------------------|------------|--|-----------|------------|--|-------------------------|----------------------|---|
| 27 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策環境整備事業（藤華苑）      | 住民課        | ①新型コロナウイルス感染拡大防止のため換気対策の一環として施設環境を整備し、利用者への快適な空間の提供及び安全性を図る。<br>②③<br>(1) 空調設備等整備（エアコン設置工事費）<br>空調設備工事 5,741千円（税込）<br>電気設備工事 441千円（税込）<br>内部改修工事 158千円（税込）<br>(2) 換気のための環境整備<br>網戸改修（ステンレス） 474千円（税込）<br>換気設備 446千円（税込）<br>④事業の対象<br>内子町畜場「藤華苑」  | R2. 10. 1 | R3. 7. 15  | ①新型コロナウイルス感染拡大防止の換気対策の一環として施設環境を整備し、利用者への快適な空間の提供及び安全性を図った。<br>②③<br>(1) 空調設備等整備（エアコン設置工事費）<br>空調設備工事 5,524千円（税込）<br>電気設備工事 424千円（税込）<br>内部改修工事 152千円（税込）<br>(2) 換気のための環境整備<br>網戸改修（ステンレス） 456千円（税込）<br>換気設備 429千円（税込）<br>④事業の対象<br>内子町畜場「藤華苑」 | 6,985,000               | 6,985,000            | 火葬の待ち時間や告別式における感染拡大防止のため、適切に換気を実施し利用者が快適に過ごせるよう空調効果の高い容量の大きいエアコンを設置した。<br>利用者からは換気に対する苦情等もなく必要な換気が適切に行えた。                         |
| 28 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策環境整備事業（内子窓口センター） | 内子総合窓口センター | ①新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、非接触型体温計にて発熱者を確認した場合の対処のための、発熱者待機所を設置する。<br>②③<br>パーテーションパネル @38,830×6枚=232,980円<br>椅子 @15,180×5脚=75,900円<br>④事業の対象<br>・内子窓口センター   | R2. 10. 1 | R3. 3. 31  | 非接触型体温計にて発熱者を確認した際の発熱者待機所を設置することで、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた。<br>・パーテーションパネル6枚 140,184円<br>・椅子5脚 53,400円   | 193,584                 | 193,000              | 発熱者が来庁された際に待機できる場所ができたことで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図ることが可能となった。  |
| 29 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策環境整備事業（本庁）       | 住民課        | ①新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、非接触型体温計にて発熱者を確認した場合の対処のための、発熱者待機所を設置する。<br>②③経費の内容・積算根拠<br>アクリルスクリーン キャスター付 @17,600円×3枚=52,800円（税込）<br>除菌消臭加湿器 @5,060円×1基=5,060円（税込）<br>除菌消臭水（140L） @4,290円（20L）×7本=30,030円（税込）<br>④事業の対象<br>・本庁 ロビー  | R2. 10. 1 | R3. 3. 31  | ①非接触型体温計にて発熱者を確認した場合の対処として発熱者待機所を設置した。<br>②③経費の内容・積算根拠<br>アクリルスクリーン キャスター付 @17,600円×3枚=52,800円（税込）<br>除菌消臭加湿器 @5,060円×1基=5,060円（税込）<br>除菌消臭水（140L） @4,290円（20L）×7本=30,030円（税込）<br>④事業の対象<br>・本庁 ロビー  | 87,890                  | 76,000               | 感染可能性のある発熱者待機所を設置し他の来庁者との接触を減らす場所を確保した。来庁者の心理的不安軽減にもなり必要な手続きや相談等が落ち着いてできた。  |
| 30 | 内子保健センター空調設備改修事業                   | 保健福祉課      | ①マスク着用による高齢者などの熱中症のリスク軽減や、災害発生時に新型コロナウイルス感染者が出た場合の専用の避難所として活用するための空調設備及びトイレ洋式化整備<br>②内子保健センター空調設備・トイレ改修<br>③空調設備工事費 22,782千円、トイレ洋式化工事1,375千円<br>④-   | R2. 8. 1  | R2. 10. 31 | マスク着用による高齢者などの熱中症のリスク軽減や、災害発生時に新型コロナウイルス感染者が出た場合の専用の避難所として活用するための空調設備及びトイレ洋式化整備<br>・空調設備工事 22,782千円<br>・トイレ洋式化工事 1,375千円   | 24,157,000              | 23,039,000           | 空調設備工事を実施したことで、室内温熱環境が改善し、熱中症や感染リスクを軽減することができた。また、トイレ洋式化による汚物の飛散防止対策ができたことで、感染リスクの軽減を図ることができた。                                    |
| 31 | 小田保健センター空調設備・トイレ改修事業               | 保健福祉課      | ①マスク着用による高齢者などの熱中症のリスク軽減や、災害発生時に新型コロナウイルス感染者が出た場合の専用の避難所として活用するための空調設備及びトイレ洋式化整備<br>②小田保健センター空調設備・トイレ改修<br>③設計業務 5,203千円<br>空調設備工事費 25,825千円、トイレ洋式化工事1,675千円<br>④-   | R2. 12. 1 | R3. 9. 3   | マスク着用による高齢者などの熱中症のリスク軽減や、災害発生時に新型コロナウイルス感染者が出た場合の専用の避難所として活用するための空調設備及びトイレ洋式化整備<br>・設計業務 4,400千円<br>・空調設備工事 23,997千円<br>・トイレ洋式化工事 2,403千円  | 30,800,000              | 30,800,000           | 空調設備工事を実施したことで、室内の換気量が増し、感染リスクを軽減することができた。また、トイレ洋式化による汚物の飛散防止対策及び自動手洗いによる接触機会の軽減対策ができたことで、感染リスクを軽減を図ることができた。                      |
| 32 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策環境整備事業（内子児童館）    | 子ども支援課     | ①新型コロナウイルス感染拡大防止の対策とされる「3つの密」を解消するため、施設の環境を整備するとともに、資材等の購入により、利用者に対する安全の確保と学びの場を保障をする。<br>また、これらの整備により、地域の児童に健全な遊び場を提供でき、幼児及び少年の健康を増進させ、情操を豊かにすることができる。<br>②③<br>(1) 網戸等整備<br>洗面台等整備（2箇所）、網戸設置（21箇所）、排水施設整備（排水桝2基、水路L=13m） 902千円<br>(2) 空調設備等整備<br>エアコン2基、扇風機6台ほか 622千円<br>(3) 空間確保のための環境整備<br>児童用机8台、作業用机2台 382千円<br>④事業の対象<br>・対象施設等 内子町立内子児童館 | R2. 10. 1 | R3. 2. 28  | 拡散防止対策<br>(1) 網戸等整備 902,000円<br>洗面台等整備（2箇所）<br>網戸設置（21箇所）<br>排水施設整備（排水桝2基ほか）<br>(2) 空調設備等整備 622,380円<br>エアコン2基、扇風機6台<br>空間確保対策<br>(1) 資材購入 381,960円<br>児童用机8台、作業用机2台   | 1,906,340               | 1,906,000            | 新型コロナウイルスの感染拡大を防止するための対策とされる「3密」を解消するため、本事業により、空間確保のための資材確保や拡散を防ぐための空調などの設備を整備した。<br>このことにより、施設の安全・安心が確保され、児童等に健全な遊び場と学びの場が提供できた。 |

| 番号 | 交付対象事業の名称                         | 所管     | 計画申請時の事業の概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当する経費内容<br>③積算の根拠（対象、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等）   | 事業<br>始期 | 事業<br>終期 | 事業実績  | 総事業費<br>(実績見込額)<br>単位：円 | 交付金<br>充当見込額<br>単位：円 | 効果検証<br>(事業の評価)   |
|----|-----------------------------------|--------|---|----------|----------|---|-------------------------|----------------------|---|
| 33 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策環境整備事業（五十崎児童館）  | 子ども支援課 | ① 新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策とされる「3つの密」を解消し、換気、消毒、手洗いを実施するため、施設の環境を整備するとともに、資材等の購入により、利用者に対する安全の確保と学びの場を保障をする。また、これらの整備により、地域の児童に健全な遊び場を提供でき、幼児及び少年の健康を増進させ、情操を豊かにすることができる。<br>②③ 衛生設備整備（計1,857千円）<br>洗面台1台（1,267千円）<br>食器乾燥機、食器保管庫（590千円）<br>遊具の殺菌処理のための環境整備<br>紫外線消毒ボックス設置1台（380千円）<br>空調設備等整備（計7,374千円）<br>空調機設置工事（6,140千円）<br>電気設備工事（686千円）<br>内部改修工事（548千円）<br>換気設備工事<br>換気設備（1,731千円）<br>空間確保のための環境整備<br>ロッカー移設及び増設（296千円）<br>④内子町立五十崎児童館 | R2.10.1  | R3.9.3   | ① 新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策のため空調設備及び換気設備の改修及び消毒、手洗い場の増設により、施設の衛生環境が整った。<br><br>工事費 一式（11,400,000円）<br>①衛生設備整備 洗面台 1台<br>食器乾燥機、食器保管庫 一式<br>②遊具の殺菌処理のための環境整備<br>紫外線消毒ボックス設置 1台<br>③空調設備等整備<br>空調機設置工事 エアコン 6台<br>電気設備工事・内部改修工事 一式<br>④換気設備工事<br>換気設備 3台<br>⑤空間確保のための環境整備<br>ロッカー移設及び増設 一式 | 11,400,000              | 11,400,000           | 空調設備、換気設備工事を実施したことで、室内の換気量が増し感染リスクを軽減することができた。また、ロッカーや手洗い場の増設、遊具の殺菌器機の設置により、感染リスクの軽減を図ることができた。  |
| 34 | 令和2年度内子町ひとり親世帯等臨時特別給付金給付事業        | 子ども支援課 | ①新型コロナウイルス感染症のため、子育ての負担増や収入減少などの影響を受けている、ひとり親世帯等に対して臨時特別給付金を支給することで、その負担軽減を図ることを目的とする。<br>②交付金を充当する経費内容<br>ひとり親世帯等に対する給付金<br>③134世帯×30,000円=4,020,000円<br>④交付対象者：令和2年5月1日時点において内子町に住所を有し、令和2年5月分の児童扶養手当の給付を受ける者   | R2.6.1   | R2.10.31 | 新型コロナウイルス感染症のため、子育て負担増や収入減少などの影響を受けている、ひとり親世帯等に対し臨時特別給付金を支給した。<br>134世帯×30,000円=4,020,000円  | 4,020,000               | 4,020,000            | 新型コロナウイルス感染症のため、子育て負担増や収入減少などの影響を受けている、ひとり親世帯等の負担軽減をすることができた。   |
| 35 | 五十崎こども園空調換気設備整備事業                 | 子ども支援課 | ①新型コロナウイルス感染症対策として空調換気設備を整備することで、利用者の安全確保を図ることを目的とする。<br>②交付金を充当する経費内容<br>遊戯室への空調換気設備の設置に係る設計委託費及び工事請負費<br>③（1）設計委託費 直接人件費 1,013,700円<br>諸経費 1,086,300円<br>消費税 210,000円<br>合計 2,310,000円<br>（2）工事請負費 直接工事費 18,500,000円<br>共通仮設費 462,500円<br>現場管理費 3,966,360円<br>一般管理費 3,871,140円<br>消費税 2,680,000円<br>合計 29,480,000円<br>④事業の対象<br>交付対象施設：五十崎こども園（遊戯室2部屋）  | R2.11.1  | R3.9.3   | <設計委託費><br>工期 R2.12.11~R3.2.19<br>金額 2,090,000円（うち税190,000円）<br><工事請負費><br>工期 R3.3.25~R3.8.13<br>金額 20,449,000円（うち税1,859,000円）<br><内容><br>乳児棟並びに幼児棟の遊戯室2室の空調換気設備設置工事  | 22,539,000              | 22,539,000           | 令和2年4月に認定こども園として開園し、現在、園児数約100名、教諭等約30名（臨時含む）で運営しているが、乳児棟の遊戯室（約126㎡）と幼児棟の遊戯室（約143㎡）2室が空調換気設備がないため利用時のコロナ感染症予防対策に苦慮していたが、今回の空調換気設備の設置によって社会的距離を踏まえながら、遊戯室を積極的に教育・保育活動に有効活用することが可能になり、園児のストレス解消に繋がっている。 |
| 36 | 内子町経営継続補助金交付事業                    | 農林振興課  | ①新型コロナウイルス感染症の影響を克服するために、感染拡大防止対策を行いつつ、販路回復・開拓や事業継続・転換のための機械・設備の導入や人手不足解消の取組を総合的に支援することによって、地域を支える農林業者の経営の継続を図る。<br>②補助率1/4（補助上限額33万円）、共同申請の場合（補助上限額330万円）<br>③【単独】30名×330千円=9,900千円<br>【共同】2件×3,300千円=6,600千円<br>④国の経営継続補助金を申請し、採択された農林業者（個人及び法人）※常時従業員数は20人以下のもの  | R2.5.1   | R4.3.29  | 新型コロナウイルス感染症の影響を克服するために、感染拡大防止対策を行いつつ、販路回復・開拓や事業継続・転換のための機械・設備の導入や人手不足解消の取組を総合的に支援することを目的に、事業を行った。<br>補助件数<br>単独：38件 10,201,584円<br>共同：2件 2,951,023円<br><br>合計：40件 13,152,607円  | 13,152,607              | 13,152,607           | コロナ化の中で積極的に投資をし、アフターコロナを見据えている農林業者を支援することによって、農林業者の経営の継続が図られた。  |
| 37 | 内子町道の駅ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金交付事業 | 農林振興課  | ①町内道の駅が今後複数年にわたり相次いで直面する制度変更（働き方改革や被用者保険の適用拡大、賃上げ、インボイス導入等）等に対応するため、道の駅が取り組む革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援する。<br>②補助率1/4（補助上限額333万円）<br>③町内道の駅（2駅）×333万円=666万円<br>④国のものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金のうち、新型コロナウイルスの影響を乗り越えるために前向きな投資を行う事業者に対して設けられた「特別枠」を申請し、採択された道の駅   | -        | -        | 公募取り下げにより未実施  |                         |                      |   |

| 番号 | 交付対象事業の名称                  | 所管    | 計画申請時の事業の概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当する経費内容<br>③積算の根拠（対象、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等）   | 事業<br>始期 | 事業<br>終期 | 事業実績   | 総事業費<br>(実績見込額)<br>単位：円 | 交付金<br>充当見込額<br>単位：円 | 効果検証<br>(事業の評価)  |
|----|----------------------------|-------|---|----------|----------|--|-------------------------|----------------------|--|
| 38 | 内子町林業復興・振興木材搬出事業           | 農林振興課 | ①新型コロナウイルス感染症の影響により、木材需要及び価格が下がったため、木材生産者の森林整備に対する意欲が減少し、町内の林業全体の事業が縮小されている。そこで、木材を出荷される方の負担軽減と出荷意欲の向上を図ることで、内子町内の木材生産者や林業事業者、森林組合等の生活を守り、木材の流通を維持し、林業の復興・振興を図っていく。<br>②木材搬出時の原木市場までの運搬にかかる経費の内、500円/m <sup>3</sup><br>③500円/m <sup>3</sup> ×15003.301m <sup>3</sup> （出荷材積）端数調整<br>④町内の山林等から森林整備に伴う桧・杉・松を小田原木市場へ搬出した出荷者 | R2.4.1   | R3.1.31  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、木材需要及び価格が下がり、木材生産者の森林整備に対する意欲が減少した。木材出荷者の負担軽減と出荷意欲の向上を図るため、木材搬出時の運搬経費の補助を行った。<br>・事業実施期間：令和2年4月から11月<br>・申請件数：<br>1回目 206件 6933.360m <sup>3</sup> 3,466,624円<br>2回目 166件 7129.840m <sup>3</sup> 3,564,879円<br>3回目 19件 940.101m <sup>3</sup> 470,046円<br>計 391件 15003.301m <sup>3</sup> 7,501,549円 | 7,501,549               | 7,500,000            | 補助対象外の木材を含む内子町森林組合の材積取扱量（4月～11月分）20126.445m <sup>3</sup> が、過去3カ年の同時期の平均と比較して93.9%であった。<br>コロナ禍において、平均より取扱量が減少したが、木材生産意欲を維持することができた。                  |
| 39 | 内子町木材出荷事業                  | 農林振興課 | ①新型コロナウイルス感染症の影響により、小田原木市場では製材業者等が市場での購入の縮小または低額化がすすめられている。そこで、小田原木市場の木材を購入した方の負担軽減を図ることで、市場の競争力を高め、活性化を図っていく。<br>②木材出荷時の積込にかかる経費の内、200円/m <sup>3</sup><br>③200円/m <sup>3</sup> ×12448.840m <sup>3</sup> （販売材積）端数調整<br>④町内の山から出た桧・杉・マツを購入された製材業者等（森組経由）   | R2.4.1   | R2.11.30 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、木材購入の縮小または低額化が進んだ。木材購入者の負担軽減を図るため、木材出荷時の積込にかかる経費の補助を行った。<br>・事業実施期間：令和2年4月から8月<br>・申請件数：<br>238件 12448.840m <sup>3</sup> 2,489,675円   | 2,489,675               | 2,489,000            | 補助対象外の木材を含む内子町森林組合の材積取扱量（4月～8月分）12452.099m <sup>3</sup> が、過去3カ年の同時期の平均と比較して93.0%であった。<br>コロナ禍において、平均より取扱量が減少したが、小田原木市場の競争力を維持することができた。               |
| 40 | 内子フレッシュパークからりレストラン空調設備改修事業 | 農林振興課 | ①新型コロナウイルス感染症対策のため、内子フレッシュパークからりレストランの空調設備及び換気設備の改修を行う。<br>②設計監理、空調設備<br>③設計監理費<br>実施設計業務490千円<br>諸経費540千円<br>消費税103千円<br>改修工事費<br>直接工事費12,875千円<br>共通仮設費518千円<br>現場管理費1,993千円<br>一般管理費1,114千円<br>消費税1,650千円<br>④からりレストラン   | R3.1.1   | R3.7.15  | 新型コロナウイルス感染症対策のため、内子フレッシュパークからりレストランの空調設備及び換気設備の改修を行った。<br>設計管理委託業務 950,000円×1.1=1,045,000円<br>改修工事費 16,497,273円×1.1=18,147,000円<br><br>合計 19,192,000円   | 19,192,000              | 19,192,000           | 空調設備・換気設備の改修により、レストランからは愛媛県笑顔の安心飲食店認証店に認証され、大勢のお客様に安心して、利用していただいている。認証取得に伴い、団体客も徐々にではあるが、利用が増加している。  |
| 41 | 家庭学習のための授業等配信環境整備事業        | 学校教育課 | ①新型コロナウイルス感染症等の理由により学校に来られない場合に、教師と児童生徒が双方向でやり取りを行うためのWebカメラについて、学校規模や実情に応じ、公立学校情報機器整備費補助金の範囲を超えて整備する。<br>②Webカメラ、スピーカー<br>③（Webカメラ40,942円-35,000円）×11台+スピーカー20,047円×15台=366,067円<br>④-   | R2.10.1  | R3.3.31  | Webカメラ、スピーカー<br>（Webカメラ40,942円-35,000円）×11台+スピーカー20,047円×15台=366,067円  | 366,067                 | 366,000              | 教師と児童生徒が双方向でやり取りを行うためのWeb会議の環境を整備できた。  |
| 42 | 小中学校音楽室空調設備整備事業            | 学校教育課 | ①新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、合唱や発声等、感染リスクが高い音楽室に、空調設備及び空気清浄機能付き換気設備を整備し衛生環境の改善を図る。<br>②音楽室の空調設備整備に係る設計委託業務費及び空調設備工事費。<br>③設計委託業務費 6,160千円<br>工事費 58,168千円<br>【内訳】<br>直接工事費 37,612千円 ・ 共通仮設工事費 2,465千円<br>現場管理費 6,680千円 ・ 一般管理費 6,123千円 ・<br>消費税5,288千円<br>④町内小学校7校及び中学校3校  | R2.12.1  | R3.9.24  | 感染リスクの高い町内小・中学校11校の音楽室に空調設備及び空気清浄機能付き換気設備を整備。 設計委託業務費 6,160,000円 工事費 39,215,000円   | 45,375,000              | 45,375,000           | 本事業により、これまでエアコンの設置が無かった特別教室のうち、感染リスク及び利用頻度の高い音楽室に新たに空調設備を設置することで、換気の悪い密閉空間を改善するとともに、今後も予測される新型コロナウイルス感染症対策を実施する事ができた。                                |
| 43 | 小田学校給食センター空調設備整備事業         | 学校教育課 | ①新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、小田学校給食センター調理室及び下処理室への空調設備及び空気清浄機付き換気設備の設置を行い、室内環境の改善を図る。<br>②小田学校給食センター調理室等の空調設備及び空気清浄機付き換気設備整備に係る設計委託業務費及び空調設備等工事費<br>③<br>設計委託業務費<br>実施設計業務 900,000円<br>消費税 90,000円<br>工事費<br>直接工事費 11,890,000円<br>共通仮設工事費 676,000円<br>現場管理費 1,980,000円<br>一般管理費 2,134,000円<br>消費税 1,668,000円<br>④小田学校給食センター    | R2.12.1  | R3.9.24  | 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、小田学校給食センター調理室及び下処理室への空調設備及び空気清浄機付き換気設備の設置を行い、室内環境の改善を図った。<br><br>設計委託業務費（R2年度）<br>実施設計業務 990,000円<br><br>工事費（R2年度繰越）<br>工事請負費 10,087,000円   | 11,077,000              | 11,077,000           | 小田学校給食センター調理室及び下処理室への空調設備及び空気清浄機付き換気設備の設置により、夏場を中心とした室内環境の改善により、新型コロナウイルス感染の予防につながった。<br>また調理員が暑い中でマスクをした状態での作業における熱中症など健康面での心配が解消され、作業効率の向上にもつながった。 |

| 番号 | 交付対象事業の名称                       | 所管     | 計画申請時の事業の概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当する経費内容<br>③積算の根拠（対象、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等）   | 事業<br>始期 | 事業<br>終期 | 事業実績   | 総事業費<br>(実績見込額)<br>単位：円 | 交付金<br>充当見込額<br>単位：円 | 効果検証<br>(事業の評価)   |
|----|---------------------------------|--------|---|----------|----------|--|-------------------------|----------------------|---|
| 44 | 修学旅行等支援事業                       | 学校教育課  | ①新型コロナウイルス感染症の影響により修学旅行日程変更等によるキャンセル料に係る経費を助成をすることで、参加者の負担軽減を図る。<br>②修学旅行キャンセル料に係る助成<br>③@2,200円×105人=231,000円<br>④内子町立小学校に在籍する児童で、修学旅行に参加予定の児童   | R2.10.1  | R2.12.31 | 修学旅行キャンセル料に係る助成<br>@2,200円×105人=231,000円   | 231,000                 | 231,000              | 修学旅行日程変更等によるキャンセル料に係る経費を助成を行い、参加者の負担軽減を図った。   |
| 45 | 図書館新型コロナウイルス感染症対策事業             | 自治・学習課 | ①図書館は住民の健康的な生活を維持するため感染リスクも踏まえた上で感染防止策を講じることを前提に開放しなければならない。不特定多数の利用者が自宅へ持ち帰る書籍の消毒を徹底することで利用者の感染防止を図る。<br>②図書消毒機の購入費<br>③図書消毒機の購入費<br>880,000円×3台=2,640,000円、消費税264,000円を計上<br>④対象施設<br>・内子町図書情報館本館<br>・内子町図書情報館五十崎分館<br>・内子町図書情報館小田分館  | R2.12.1  | R3.2.28  | 図書消毒機を購入し、不特定多数の者が持ち帰る書籍の消毒をすることで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図った。<br>【設置場所】<br>内子町図書情報館 1台<br>内子町図書情報館五十崎分館 1台<br>内子町図書情報館小田分館 1台<br>【購入費用】<br>968,000円×3台=2,904,000円   | 2,904,000               | 2,904,000            | 不特定多数の者が持ち帰る書籍の消毒をすることで、書籍の返却・貸出し業務が安心してできるようになった。また、図書館利用者からは、安心して書籍を借りて持ち帰ることができること好評。  |
| 46 | 自治会館新型コロナウイルス感染症対策事業            | 自治・学習課 | ①町内自治会館に非接触型体温計を配備し、施設利用者の健康管理を行い感染拡大防止を図る。<br>②非接触型体温計の購入費<br>③非接触型体温計 @4,719円×41台=193,479円<br>④町内各自治会館（41自治会館）  | R2.12.1  | R3.1.31  | 町内自治会館（41箇所）に非接触型体温計を配備し、施設利用者の健康管理を行い新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図った。<br>4,719円×41自治会館=193,479円   | 193,479                 | 193,000              | 自治会館利用者が非接触型体温計による検温をすることで、発熱者の発見が可能となり、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図ることができた。   |
| 47 | 内子町交友館新型コロナウイルス感染症対策事業          | 自治・学習課 | ①災害時の避難所開設において、発熱者の避難先として機能を強化すること、並びに小田地区における無症状感染者の一時隔離・滞在先としての機能を持たせるために施設改修を行うものである。<br>②改修工事費：トイレ洋式化・施設防火機能（簡易宿泊所程度の耐火性能）向上化、空調設備・建具等の改修<br>③<br>設計委託<br>設計業務3,050,000円（諸経費含む）<br>消費税305,000円<br>工事費<br>建築11,000,000円<br>電気設備3,300,000円<br>機械設備4,200,000円<br>共通仮設費800,000円<br>諸経費7,950,000円<br>消費税2,725,000円<br>④内子町城の台公園交友館   | R2.12.1  | R4.3.4   | ・研修棟への渡り廊下を撤去し、避難時出入口を確保した。<br>・内部について、内装制限等の法適合化改修を行った。<br>・上記改修に伴う電気設備及び機械設備を改修した。<br>・居住性を確保するために空調機器を更新した。<br>1. 交友館改修工事設計委託 3,355,000円（税込）<br>2. 交友館改修工事 22,350,900円（税込）<br>①建築主体工事<br>（直接仮設・解体撤去・外部/内部/建具改修・発生材処理費）<br>②電気設備改修工事<br>（幹線・電灯・非常誘導灯・テレビ共聴・火災警報/報知設備）<br>③機械設備工事<br>（衛生器具・給水・排污水・空調・換気、撤去）<br>④共通仮設費<br>⑤現場管理費<br>⑥一般管理費 | 25,705,900              | 25,705,900           | 近年増加傾向にある豪雨災害や、震災等の災害時において、発熱者等傷病者が安全に非難・滞在する設備が確保されたことで、地域内の避難体制がより強化され、非常時でも安心して生活できる環境が整った。                                    |
| 48 | 道の駅「小田の郷せせらぎ」新型コロナウイルス感染症対策整備事業 | 小田支所   | ①道の駅「小田の郷せせらぎ」を新型コロナウイルス感染症に対応できるように設備を整え、施設の改修を図る。<br>②緊急的な整備として、キャッシュレス環境の整備及び換気促進のための空調システムを導入する。また将来的にソーシャルディスタンスや新しい旅行スタイルに対応するため、施設の改修計画を策定し、一部は改修工事（自動ドア、換気、空調、環境改善、照明改善）を実施する。そのための経費を交付対象経費とする。<br>③せせらぎ改修設計費<br>計 1,254,000円<br>せせらぎ改修工事費<br>計 14,874,000円<br>※ エアコン・換気システム更新、風除室拡張等<br>クレジット対応POSシステム<br>クレジット連動ソフト 231,550円、POSレジ 463,650円<br>ディスプレイ 151,800円、自動釣銭機 1,603,800円<br>計 2,450,800円<br>小田の郷せせらぎ改修基本構想策定費<br>直接人件費 964,650円、諸経費 1,060,350円<br>消費税 202,500円、計 2,227,500円<br>④道の駅「小田の郷せせらぎ」 | R2.9.1   | R4.3.25  | ①道の駅小田の郷せせらぎ第3次整備基本構想・基本計画策定事業<br>新型コロナウイルス感染症対策を施した第3次整備計画を策定した。<br>2,227,500円<br>②道の駅小田の郷せせらぎ改修工事設計委託業務<br>せせらぎ及び、かじか亭の空調設備等の改修工事設計を実施した。<br>1,254,000円<br>③道の駅小田の郷せせらぎ改修工事<br>せせらぎの空調設備改修及び、かじか亭の風除室拡張、自動ドア設置、空調設備の改修工事を実施した。<br>13,053,700円<br>④道の駅小田の郷せせらぎ自動釣銭機・クレジット連動機等導入委託業務<br>自動釣銭機・クレジット連動機等を導入した。<br>2,450,800円                | 18,986,000              | 18,986,000           | 第3次整備基本構想・基本計画策定により、将来の感染症対策を踏まえた実施計画が可能となり、空調設備改修工事や自動ドア設置、自動釣銭機・クレジット連動機等の導入によって、店舗内での3密回避、レジでの接触機会を減らすことが徹底され、感染症対策に十分な効果があった。 |

| 番号 | 交付対象事業の名称                                    | 所管       | 計画申請時の事業の概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当する経費内容<br>③積算の根拠（対象、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等）   | 事業<br>始期 | 事業<br>終期 | 事業実績  | 総事業費<br>(実績見込額)<br>単位：円 | 交付金<br>充当見込額<br>単位：円 | 効果検証<br>(事業の評価)   |
|----|--|----------|---|----------|----------|---|-------------------------|----------------------|---|
| 49 | テレワーク&移住体験施設支援事業                             | 小田支所     | ①コロナで地方が目目される中、移住体験やリモートワーク体験をする拠点を整備することで、関係&交流人口の増加、将来的な移住者の増加を図る。<br>②施設改修経費、及びリモートワーク等機器整備費<br>③ 設計費 979,000円<br>工事費（内装・設備等） 18,029,000円<br>備品（テレワーク設備等） 992,000円<br>※市町テレワーク移住モデル実証支援事業費補助金により県が1/2補助<br>④二宮邸  | R2.12.1  | R3.8.30  | 二宮邸をテレワークが可能な移住体験住宅に修し、必要な備品を備えた。<br>● 設計費 1,980,000円<br>● 工事費（内装・設備等） 16,984,000円<br>● 備品（テレワーク設備等） 1,017,390円   | 19,981,390              | 9,991,390            | ウィズコロナの時代において、ネット通信機器の配備を行い、テレワーク施設としての機能が付加されたことで、移住希望者への幅広い対応や、豊かな自然環境の中でのワーケーション推進など、遠隔業務を行える環境が整った。       |
| 50 | 小田支所新型コロナウイルス感染症対策整備事業                       | 小田支所     | ①新型コロナウイルス感染症に対応できるよう小田支所の整備を図る。<br>②受付カウンターの奥行きを広げるなど、適切な距離が取れるよう改修する。また、カウンターでできない相談等に対応できるよう大きめのテーブルを整備する。<br>③<br>カウンター製作費 95,000円×4台=380,000円<br>諸経費 40,000円、消費税 42,000円、計462,000円<br>カウンター用椅子（6脚） 132,000円<br>相談用パーテーション（大1小1）224,070円<br>相談用テーブル1、椅子6 190,080円<br>合計 1,008,150円<br>④小田支所   | R2.12.1  | R3.3.31  | 新型コロナウイルス感染症に対応できるよう小田支所の整備を図った。<br>●カウンター製作費 95,000円×4台=380,000円<br>●諸経費 40,000円、消費税 42,000円、計462,000円<br>●カウンター用椅子（6脚） 132,000円<br>●相談用パーテーション（大1小1）224,070円<br>●相談用テーブル1、椅子6 190,080円<br>合計 1,008,150円   | 1,008,150               | 1,008,000            | 受付業務や執務室での業務において3密対策に効果があった。  |
| 51 | 内子町林業センター新型コロナウイルス感染症対策整備事業                  | 小田支所     | ①新型コロナウイルス感染症対策として、内子町林業センターを改修する。<br>②防虫と換気を両立させるため、全館に網戸を設置する。<br>③網戸新設工事<br>W1500×H1200 13,600円×1枚=13,600円<br>W1800×H1750 16,100円×9枚=144,900円<br>W2150×H1750 16,700円×4枚=66,800円<br>W2150×H1940 17,200円×14枚=240,800円<br>取付調整費 46,500円<br>運搬費 57,000円<br>設計費 26,400円<br>実測調査管理費 22,000円<br>諸経費 47,000円<br>消費税 66,500円<br>合計 731,500円<br>④内子町林業センター | R2.11.1  | R3.4.5   | 第1研修室、大ホール等に換気用の網戸を新設した。<br>●網戸新設工事<br>W1500×H1200 13,600円×1枚=13,600円<br>W1800×H1750 16,100円×9枚=144,900円<br>W2150×H1750 16,700円×4枚=66,800円<br>W2150×H1940 17,200円×14枚=240,800円<br>取付調整費 46,500円<br>運搬費 57,000円<br>設計費 26,400円<br>実測調査管理費 22,000円<br>諸経費 47,000円<br>消費税 66,500円<br>合計 731,500円 | 731,500                 | 731,500              | 窓を開けたまま会合が出来るようになり3密対策に効果があった。  |
| 52 | 学校保健特別対策事業費補助金(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業に限る) | 学校教育課    | 学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業<br>①感染拡大の影響による学校の一時臨時休業に係る対応、臨時休業からの再開するための対策支援<br>②・学校における感染症対策等支援経費<br>・子供たちの学習保障支援<br>③1,500千円×1校×1/2=750千円（内子小）<br>1,000千円×6校×1/2=3,000千円（内子小以外）<br>1,000千円×4校×1/2=2,000千円（中学校）<br>④町内小中学校  | R2.8.1   | R3.3.31  | 感染リスクを最小限にしながら、十分な教育活動を継続し、学校再開に伴う感染症対策を行うため、町内小中学校毎に感染症対策物品等を購入。<br>（内子小） 1,498,750円<br>（内子小以外6校） 5,397,001円<br>（中学校4校） 3,613,401円   | 10,509,152              | 4,750,000            | 感染症対策に必要な物品等の購入により、各学校の教育活動再開等に際して、3密を回避し、児童生徒・教職員等の感染対策を行い、教育活動の再開や夏季休業期間短縮等に伴う熱中症対策に寄与した。                   |
| 53 | 公立学校情報機器整備費補助金                               | 学校教育課    | GIGAスクールサポーター配置支援事業<br>①学校ICT化の推進やマニュアル作成・周知などを行い、円滑なGIGAスクール事業の実施に資する。<br>②GIGAスクールサポーター配置支援事業の町負担分<br>③国庫補助標準額3,162,000円×1/2=1,581,000円<br>④-   | R2.8.1   | R3.4.15  | GIGAスクールサポーター配置支援事業の町負担分<br>2,354,000円×1/2=1,177,000円   | 2,354,000               | 1,177,000            | 学校ICT化の推進やマニュアル作成・周知などを行い、円滑なGIGAスクール事業の実施に寄与できた。   |
| 54 | 内子テイクアウト応援事業                                 | 町並・地域振興課 | ①新型コロナウイルスの感染拡大が長期化する中で、特に深刻な影響を受けている飲食事業者について、感染拡大防止に取り組みながら営業をしている事業者を支援するため。会食の自粛が広がる中、売り上げが伸びない状態を緩和できる。<br>②テイクアウト販売に係る売上げの40%の額。包材・箸などのテイクアウト実施に係る経費。その他コロナ感染拡大防止に係る経費。<br>③対象経費の合計額とし、上限150,000円の50店舗、7,500,000円。<br>④町内に住所と店舗等があり、町税を滞納していない飲食業者。   | R3.2.1   | R3.4.23  | 令和3年2～3月の2ヶ月間、テイクアウトを実施した飲食店等は、30件あった。  | 3,738,000               | 3,738,000            | 実施した飲食店等30件の、総売上個数は19,160個。総売上高は13,075千円となり、店舗内での飲食ができない中、テイクアウト実施により売上げ減少をカバーすることができ、町民皆で飲食店を応援できたことの意義は大きい。 |

| 番号 | 交付対象事業の名称                           | 所管       | 計画申請時の事業の概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当する経費内容<br>③積算の根拠（対象、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等）   | 事業<br>始期 | 事業<br>終期 | 事業実績   | 総事業費<br>(実績見込額)<br>単位：円 | 交付金<br>充当見込額<br>単位：円 | 効果検証<br>(事業の評価)  |
|----|-------------------------------------|----------|---|----------|----------|--|-------------------------|----------------------|--|
| 55 | 内子町事業継続給付金                          | 町並・地域振興課 | ①新型コロナウイルスの感染拡大により、第3波の影響を受けている農業・商工業に対して、事業継続を支援するため独自の給付金を支給する。<br>②原則として、令和2年11月から令和3年2月までの連続する3箇月の売上高が、前年同期比で30%以上減少している者。<br>③給付額は、比較対象期間の売上減少額の50%とし、上限額以内の額とする。<br>法人上限600,000円×150件=90,000,000円<br>個人事業者上限300,000円×300件=90,000,000円<br>合計180,000,000円（ただし、町内に店舗等のみを有する場合は1/2支給）<br>④令和2年11月30日時点において、町内に本店又は主たる事業所を有している法人か、町内に住所を有している個人事業者。ただし、町内に店舗等のみ有する場合も対象。今後も事業を継続する意思がある者。 | R3.2.1   | R3.4.23  | 申請状況は、法人48件の給付金2,640万円。個人（町内）126件の給付金3,116万2千円。個人（町外）5件の給付金75万円。農業5件の給付金80万4千円。合計件数184件の給付金5,911万6千円となった。        | 59,116,000              | 59,116,000           | 最も影響のあった業種は、飲食業の60件で、対象期間の減少額は、6,886万3千円であり、平均減少率は54%であった。コロナの第3波の影響は、ちょうど年末年始にかけて被害があり、事業継続も困難な状態が続いたが、町独自の支援策で事業者等を支援することができた。中には店を閉めた店舗もあったが最小限に食い止めることができたのではないかと検証している。 |
| 56 | 学校保健特別対策事業費補助金（感染症対策等の学校教育活動継続支援事業） | 学校教育課    | 感染症対策等の学校教育活動継続支援事業<br>①感染拡大の影響による学校の一斉臨時休業に係る対応、臨時休業からの再開及び学校教育活動の継続するための対策支援<br>②・学校における感染症対策等支援経費<br>・子供たちの学習保障支援<br>③1,200千円×1校×1/2=600千円（内子小）<br>800千円×6校×1/2=2,400千円（内子小以外）<br>800千円×4校×1/2=1,600千円（中学校）<br>④町内小中学校   | R3.2.1   | R3.5.25  | 教育活動を継続するために感染症対策等を徹底するため、町内小中学校毎に感染症対策物品等を購入。<br>（内子小） 1,199,572円<br>（内子小以外6校） 4,682,352円<br>（中学校4校） 3,155,330円 | 9,037,254               | 4,519,254            | 感染症対策に必要となる物品等の購入により、各学校の教育活動継続に際して、3密を回避し、児童生徒・教職員等の感染対策を行い、教育活動の継続に寄与した。   |